



NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART, OSAKA

報道関係者各位 | 2026.7.15

NHK
日曜美術館

NHK Sunday Museum
50th Anniversary Exhibition



大阪中之島
美術館
NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART,
OSAKA

年展

2026.10.10 sat. - 12.20 sun.

会場：大阪中之島美術館 5階展示室 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-1
開場時間：10時～17時 ※入場は16時30分まで 休館日：月曜日、10月13日火～11月24日火 ※10月12日月曜日は開館 ※全期中一部作品の展示替えがあります。
主催：大阪中之島美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライゼス近畿、企画協力：NHKエンタープライゼス近畿、協賛：NISHISHA
観覧料：一般 2000円 前売 1800円 高大生 1200円 前売 1000円 小中生 500円 前売 300円 ※税込価格 ※チケット情報の詳細は公式サイトを「ご確認ください」
お問い合わせ：大阪市総合コールセンター（なごさ） 06-4301-7285 ※受付時間：9時～21時 年中無休 展覧会公式サイト：<https://nichiten50.jp>



テレビで見た名作が大阪に。

© 2025 Succession Pablo Picasso - DCF (Japan)

開催趣旨

140点超の名作と貴重な秘蔵映像。圧倒的スケールでたどる50年。

世界でも有数の長寿な美術番組、NHK「日曜美術館」。1976年の放送開始から50年を迎える今年、その番組世界が展覧会となり、本物の美術作品と番組映像を同時に楽しめる唯一無二の空間が登場します。本展でご紹介するのは、これまでの放送回から厳選した約60作家の、140点を超える作品の数々。縄文土器から工芸、現代美術まで、幅広い時代とジャンルにわたるこれらの作品は、番組出演者が紡いできた言葉と貴重な映像によって、新たな魅力を放つでしょう。「日曜美術館」ならではの重層的な展示を、ぜひお楽しみください。

東京、静岡展に続き、最終会場となる大阪では、**大阪展限定として、サルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》、鴻池朋子作品の出品が決定**しましたのでお知らせいたします。

みどころ

1. 世界一に認定*された「日曜美術館」の秘蔵映像と名作が同時に楽しめる！
2. 約60作家・140点超の名品が一堂に集結！
3. 縄文土器から現代美術まで、時代もジャンルも超えた名品との出会い

*NHK「日曜美術館」は「週間ファインアートテレビ番組の最長放送（Longest running weekly fine art TV Programme）」としてギネス世界記録™に認定（2026年3月22日）

章構成

第1章 語り継ぐ美 ～時を超えて美を語る言葉・語らせる作品

セザンヌ、ピカソ、ダリ、岸田劉生、松本竣介など、19世紀末から20世紀の美術を彩ってきたスターたちの作品を、遠藤周作、磯崎新、松重豊ら著名人が作家を語る映像とともにご紹介します。



石田徹也《飛べなくなった人》
1996年 静岡県立美術館



サルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》
1950年 福岡市美術館
*大阪会場限定



第2章 日本美の再発見 古代から明治まで

縄文土器・土偶、伊藤若冲、曾我蕭白、葛飾北斎など、制作から時を経てブームを巻き起こす作品や作家たち。村上隆、井浦新、富永愛らがつむぐ言葉で、日本美術の名品が再び輝きだします。



《縄文土器 深鉢 火焰型土器》
新潟県長岡市深沢町岩野原遺跡出土
縄文時代（中期） 國學院大學博物館

第3章 工芸 伝統と革新

日曜美術館が50年の間欠かさず発信し続けてきた「工芸」の世界。正倉院の名品から、人間国宝の技、古の技を超えようと精進する超絶技巧まで、日本の優れた工芸をご堪能ください。



塩見亮介
《白銀角鴮面附白絲絨兜袖》
2022年 個人蔵



第4章 災いと美

疫病や自然災害、戦争といった「災い」に、芸術家はどのように向き合ってきたのか。香月泰男、石内都、鴻池朋子などの作品からその創作を垣間見ます。また、ピカソ《ゲルニカ》を、高精細映像でご紹介します。



鴻池朋子《皮綴帳》2015年 高橋龍太郎コレクション
撮影：中道淳（ナカサ&パートナーズ） © Tomoko Konoike
＊大阪会場限定

第5章 作家の生き様と美 ～アトリエ&創作の現場

作家が作品を生み出す場所、「アトリエ」。岡本太郎、舟越桂、大竹伸朗などの制作風景をご紹介します。放送当時の作家が語る言葉から、創作の根底にある彼らのこころを感じてみてください。



岡本太郎《遭遇》
1981年 川崎市岡本太郎美術館

オオカミベンチがやってくる！

万博でも話題となった「オオカミベンチ」が大阪中之島美術館に！本展出品作家の鴻池朋子さんが制作されました。ぜひ触って座って楽しんでください。設置期間など詳細は展覧会公式サイトにて発表予定です。



鴻池朋子《Wolf Bench / Black & White Fur》
2025年 作家蔵
© Tomoko Konoike



開催概要

展覧会名 NHK日曜美術館50年展
会期 2026年10月10日（土） - 12月20日（日）＊会期中、一部作品の展示替えがあります。
休館日 月曜日、10月13日（火）、11月24日（火）＊10月12日（月・祝）、11月23日（月・祝）は開館
開場時間 10:00 - 17:00（入場は16:30まで）
会場 大阪中之島美術館 5階展示室
主催 大阪中之島美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿
企画協力 NHKエデュケーショナル
協賛 NISSHA
展覧会公式サイト <https://nichibiten50.jp/>
美術館公式ホームページ <https://nakka-art.jp/>
お問い合わせ 06-4301-7285 大阪市総合コールセンター（なにわコール）＊受付時間8:00 - 21:00（年中無休）

報道関係者

お問い合わせ先

「NHK日曜美術館50年展」広報事務局（株式会社TMオフィス内）

担当：馬場、永井、西坂 TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 E-MAIL：nichibiten50@tm-office.co.jp

[広報用画像一覧] NHK日曜美術館50年展

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。下記申し込みフォームよりお申し込みください。

[広報用画像申込フォーム]

<https://forms.gle/1gnuic1VxAVijMYd6>

＊難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

■ 広報画像をご使用の際は、別紙に記載の「画像使用全般に関する注意」を必ずご確認ください。

(1) 	(2) 	(3) 
(4) 	(5) 	(6) 
(7-1) 	(7-2) 	



[広報用画像クレジット一覧] NHK日曜美術館50年展

No.	クレジット・作品名・年代・キャプション
1	石田徹也 《飛べなくなった人》 1996年 静岡県立美術館
2	《縄文土器 深鉢 火焰型土器》 新潟県長岡市深沢町岩野原遺跡出土 縄文時代（中期） 國學院大學博物館
3	塩見亮介 《白銀角鴟面附白絲絨兜袖》 2022年 個人蔵
4	鴻池朋子 《皮緞帳》2015年 高橋龍太郎コレクション 撮影：中道淳（ナカサ&パートナーズ） © Tomoko Konoike
5	岡本太郎 《遭遇》1981年 川崎市岡本太郎美術館
6	ポスターデータ ＊クレジット不要
7-1	展覧会ロゴデータ ＊クレジット不要
7-2	展覧会ロゴデータ ＊クレジット不要



[広報用画像申込書] NHK日曜美術館50年展

[画像使用全般に関する注意]

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- ・インターネットでご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用のうえ掲載URLをお知らせください。
- ・掲載誌・紙（ご紹介号）、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。

[広報用画像申込フォーム]

<https://forms.gle/1gnuic1VxAVijMYd6>

*難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

ご希望の広報画像／1・2・3・4・5・6・7-1・7-2	
貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（月日号）／月日発売予定 ☐ WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
☐ チケットプレゼントを希望する（最大2組4名様） *招待券のご提供は、広報用画像1点以上を掲載の上、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。	
送付先／〒	
備考／	

報道関係者
お問い合わせ先

「NHK日曜美術館50年展」広報事務局（株式会社TMオフィス内）
担当：馬場、永井、西坂 TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）
テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 E-MAIL：nichibiten50@tm-office.co.jp